

取組名称： 科学的思考力を育む文系学生の実験の開発 —実学の伝統の将来への継承—
取組大学： 慶應義塾大学

本取組では、文系学生が自然科学の実験や実習を通してデータの定量的な評価を行い、問題の本質を見抜き、解決策を考えることができるような総合的な科学的思考力を育成するプログラムを開発します。さらに、得られた理論、根拠と結論をしっかりと文書と口頭で表現できる学生を育成することを目的とします。これはまさに慶應義塾の「実学」の伝統でもあります。

科学的思考力



社会における必要性

- 現代社会の諸問題においては、**自然科学が本質的に重要な要素**である(地球温暖化, エネルギー問題, 遺伝子操作の問題, 放射線など)
- いかなる職業でも**自然科学的な考え方**や**知識は必須**
- 結論の根拠を理解し、**自分で独立に判断**する能力が必要
- **科学的な論述能力**はあらゆる場面で必要
- **科学, 科学者に対する理解**を深め、身近なものに(国民と科学者の距離を近づける)

総合的な**科学的思考力**の育成

- 高い総合的能力を持ち、根拠を持って自分で独立な判断を下せる人材
- 自然科学や技術への**社会の理解**を高める
- 実践を通じて**教育力向上**と**教育者育成**